

## お金/権力の流通、愛/信仰の流通

### 1, Aさんの米とBさんの魚を物々交換する(力関係A=B)

権力／それぞれの所有権とその異動を保障する(権力なしでは闘争誘発)

信仰／相手の必要を満たそうとする愛、愛を受ける感謝(現在は希少価値)

### 2, 領主Aが領土を守り、領民Bが年貢を納める(A>B)

権力／領主による統治力が、領民の生産物で贖われた(領主間の闘争へ)

信仰／神様の支配を信仰認識すれば、民族愛が領土を守る(預言者の時代と類似)

### 3, 市民Aが奴隷Bを酷使し、農業経営をする(A>B)

権力／戦闘捕虜を売買し、自律のない道具として作業現場に導入した(生産力の向上)

信仰／肉体的自律より精神的自律を大切にし、自発的奉仕を説いた(キリストの教え)

### 4, 資本家Aが労働者Bや機械を使い、工業生産をする(A>B)

権力／生活弱者の自立を奪い、低賃金で労働者を雇用した(大量生産、富の拡大へ)

信仰／この世の被造物、土地も資源もすべて神のもの、民への恵み(神の下に管理)

### 5, 雇用主Aが雇用人Bと雇用契約を結ぶ(A>B)

権力／仕事内容や雇用条件はAが提示。Bには応募と退職の選択権(労働⇒収入)

信仰／人は神様の器、御心を受けて働く。自律した人に主従関係は不要(信仰⇒労働)

### 6, Aの商品をBの代金と交換する(A<B)

権力／貨幣の浸透とグローバル経済により商品は貨幣を得る手段となる(目的:お金)

信仰／自治体内の自給自足経済により、人と人との助け合いが流通を担う(目的:愛)

### 7, Aの資産をBに貸与投資し利息配当を得る(A><B 資産の大きさによる)

権力／資本が利益を生む構造により、資産家投資家が資産を増大(貧富の差の拡大)

信仰／商品の供給によって得られるのは感謝そして隣人愛の増大(貧富の差の縮小)

### 8, 政治家Aが税を徴収し国民Bのため行政を行う(A>B)

権力／間接民主制によってAがBから集めた莫大なお金の用途を決める(権力の暴走)

信仰／直接民主制によって、Bは自ら事業を立案し見積額だけ納税する(自己責任)

\* 人の利己心が築いた社会の矛盾に気づき、神様の愛に帰結すべきである \*